

東北大学大学院環境科学研究科

高度環境政策・技術マネジメント人材養成ユニット

博士課程後期3年の課程秋季学生募集要項

(平成18年10月編入学)

[ 進 学 ]

[ 一 般 編 入 学 ]

[ 社会人編入学特別選抜 ]

[ 外国人留学生等編入学特別選抜 ]

平成18年5月

東北大学大学院環境科学研究科

東北大学は、国際的な水準の教育と研究を行うことを使命としています。輝かしい伝統を生かし、多くの学部、大学院、研究所等が一体になり、総合的な知の創造の一大拠点として、大学院中心の研究大学として発展することを目指しています。

環境科学研究科では、総合大学である東北大学の「知」を結集し、持続可能な循環社会の基盤となる社会構造を確立するため、文系、理系という伝統的区分を越える総合科学として、新たな枠組みの環境科学を構築することを目指しています。多様な領域の効果的融合と新たな学問領域を創出することにより、環境全般に幅広い知識と理解力を有しつつ、深い専門性を持ち、国際社会においても活躍できる人材を養成することを教育の目標とします。このような目標に共感し、本研究科での勉学に強い意欲を持つ人からの多くの応募を期待しています。

研究科では、環境問題に関心を有するのはもちろんのこと、自然のみならず社会や人間にも興味のある人、発想が豊かで柔軟性に富み、新分野の開拓に挑戦できる人、広い視野と国際性を持つ人、論理的にものごとを考えられる人、理論と実践を自ら粘り強く展開していける人、倫理観と使命感を持ち、社会の中でリーダーシップを発揮できる人を求めています。

このような教育目標に加えて、研究科は、持続可能な発展を支える社会構造を確立するためには、「環境政策」「環境技術」「環境経営戦略」等の高度な環境マネジメント技術を獲得し、これらの知識を、企業の技術開発の将来展開や経営戦略、あるいは地域振興としての自治体の環境政策に活かしていくことのできる人材を養成することが必要であると考え、「高度政策・技術マネジメント人材養成ユニット」を発足しました。この人材養成ユニットは、平成 17 年度科学技術振興調整費の新興人材養成プログラムとして採択されたもので、環境基礎科学と実践的環境マネジメント技法の双方を習得して、社会（市民、企業、自治体）の環境指向と実践が担える中核的人材を養成します。

## 1 募集人員

進学，一般，社会人，外国人留学生：3名

## 2 出願資格

**進学**に出願できる者は，本学大学院博士課程前期2年の課程に在学している者で，平成18年9月に修士の学位を取得見込みの者としてします。

**一般編入学**に出願できる者は，上記進学以外の者で，下記の(1)～(6)のいずれかに該当する者としてします。

**社会人編入学特別選抜**に出願できる者は，博士課程前期2年の課程を修了後原則として，2年以上の社会経験を有する者，又は入学後，技術者・教員・研究者等の身分を有する者で，下記の(1)～(6)のいずれかに該当する者としてします。

**外国人留学生等編入学特別選抜**に出願できる者は，外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で，下記の(1)～(6)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成18年9月までに取得見込みの者
- (2) 外国の大学の大学院において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成18年9月までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成18年9月までに取得見込みの者
- (4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成18年9月までに授与見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
  - 大学を卒業した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - 外国において，学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達したもの

[注1] 出願資格(5)による出願者は、出願資格について事前に環境科学研究科教務係へ照会してください。なお、その際必要な書類は次のとおりです。

| 必要書類等          | 摘 要   |
|----------------|---|
| 研究又は業務に従事した証明書 | 所属長が発行し、技術者・教員・研究者等として2年以上研究に従事したことを証明するもの。(様式随意) |
| 研究又は業務の要旨      | 技術者・教員・研究者等として勤務した期間のもの。<br>(2,000字程度, A4判2ページ)   |
| 成績証明書          | 出身大学の学部長が発行したもの。                                  |
| その他参考資料        | 学術論文, 特許公報の写等                                     |

[注2] 出願資格(6)によって出願しようとする者は、出願資格審査を行うので、事前に環境科学研究科教務係へ照会してください。

### 3 願 書 受 付

受付期間は、平成18年7月10日(月)から8月18日(金)までとします。

なお、土・日曜日、祝日および8月11日(金)から16日(水)(本学計画休暇日)は受け付けを行いません。

また、受付時間は、午前9時から午後4時30分までとします。(ただし、午前11時45分から午後1時までを除きます。)

郵送により8月21日(月)以降に到着した出願書類は、8月17日(木)までの発信局消印のある場合に限り受け付けます。

受付場所(郵送先) : 東北大学環境科学研究科教務係

〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-20

電話 (022) 795-4504

### 4 出 願 手 続

出願者は、次の書類等を整えて受付期間内に提出してください。

[ ] 本学大学院博士課程前期2年の課程に在籍している学生が、進学をする場合

| 提出書類等     | 摘 要          |
|-----------|--------------|
| 進学願書及び履歴書 | 本研究科所定の用紙    |
| 大学院の成績証明書 | 本研究科在籍者は提出不要 |
| 大学院の修了証明書 | 本研究科在籍者は提出不要 |

|          |   |
|----------|---|
| 学部の成績証明書 | 出身大学の学部長の発行したもの。                                      |
| 修士論文副本   | 修士論文副本を提出できない者は、2,000字程度の日本語（もしくはそれに相当する英語）の研究の要旨を提出。 |
| 研究計画書    | 2,000字程度の日本語（もしくはそれに相当する英語）                           |
| 写真票・受験票  | 上半身脱帽像で出願前3か月以内に撮影した写真を写真票にはる。                        |

[ ] [ ] 以外の者で、出願資格の(1)～(4)による出願の場合

| 提出書類等                  | 摘 要  |
|------------------------|--|
| 編入学願書及び願書              | 本研究科所定の用紙  |
| 大学院の成績証明書              | 出身大学院の研究科長が発行するもの。   |
| 修了（見込）証明書又は学位授与（見込）証明書 | 出身大学院の研究科長又は大学評価・学位授与機構が発行するもの。  |
| 学部の成績証明書               | 出身大学の学部長の発行したもの。   |
| 修士論文副本                 | 修士論文副本を提出できない者は、2,000字程度の日本語（もしくはそれに相当する英語）の研究の要旨を提出。  |
| 研究計画書                  | 2,000字程度の日本語（もしくはそれに相当する英語）  |
| TOEFL または TOEIC の公式認定証 | TOEFL または TOEIC の公式認定証、又は英語検定試験合格証など英語能力を判定できる資料を提出すること。TOEFL または TOEIC 公式認定証を提出する場合は、平成16年1月1日以降に受験した公式認定証を郵送または持参のうえ、出願開始日から8月28日（月）正午（必着）までに本研究科教務係へ提出すること。 |
| 健康診断書                  | 本研究科所定の用紙（ただし、本学定期健康診断（平成18年5月中旬実施）を受けている者は提出不要）   |
| 写真票・受験票                | 上半身脱帽像で出願前3か月以内に撮影した写真を写真票にはる。   |
| 検 定 料                  | 30,000円（郵送の場合は、郵便普通為替証書にし、受取人指定欄等は記入しないこと。）  |
| 検 定 料 領 収 書            | 本研究科所定の用紙（2枚とも出願者氏名を記入）  |

[ ] 出願資格の(5)による出願の場合

| 提出書類等      | 摘 要       |
|------------|-----------|
| 編入学願書及び履歴書 | 本研究科所定の用紙 |

|                        |  |
|------------------------|--|
| 研究計画書                  | ・2,000字程度の日本語(もしくはそれに相当する英語)   |
| 成績証明書                  | 出身大学の学部長の発行するもの。   |
| 卒業証明書又は学位授与証明書         | 出身大学の学部長又は大学評価・学位授与機構が発行するもの。  |
| 研究又は業務に従事した証明書         | 所属長が発行し、技術者・教員・研究者等として2年以上研究に従事したことを証明するもの。(様式随意)  |
| TOEFL または TOEIC の公式認定証 | TOEFL または TOEIC の公式認定証、又は英語検定試験合格証など英語能力を判定できる資料を提出すること。TOEFL または TOEIC 公式認定証を提出する場合は、平成16年1月1日以降に受験した公式認定証を郵送または持参のうえ、出願開始日から8月28日(月)正午(必着)までに本研究科教務係へ提出すること。 |
| 健康診断書                  | 本研究科所定の用紙  |
| 写真票・受験票                | 上半身脱帽像で出願前3か月以内に撮影した写真を写真票にはること。   |
| 検定料                    | 30,000円(郵送の場合は、郵便普通為替証書にし、受取人指定欄等は記入しないこと。)  |
| 検定料領収書                 | 本研究科所定の用紙(2枚とも出願者氏名を記入すること。)   |

[ ] 出願資格の(6)による出願者は、出願書類等について事前に環境科学研究科教務係へ照会してください。

## 5 選抜方法等

試験日時：平成18年8月28日(月)～8月30日(水)に別表1によって行います。

試験場所：詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

## 6 合格者発表

平成18年9月6日(水)17時頃に環境科学研究科教務用掲示板に発表するとともに、入学志願者に対しては、文書にて合否を通知します。

## 7 入学手続等

(1) 入学手続の詳細については、合格通知書を送付する際に通知します。

(2) 入学時の必要経費は次のとおりです。

編入学の場合

入 学 料      282,000円(予定額)

授業料後期分      267,900円(年額535,800円)(予定額)

## 進学の場合

本学大学院博士課程前期2年の課程を修了見込みの者の入学料は不要です。

授業料後期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

注1.入学時および在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい入学料・授業料が適用されます。

注2.入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続きに関する書類で通知します。

## 8 長期履修学生制度の適用

入学者は「長期履修学生制度」の適用を申請することができ、審査の上許可することがあります。

「長期履修学生制度」とは、職業を有している等の事情(注1)により、標準修業年限である3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了する(注2)制度です。

当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額になります。

長期履修学生制度の適用を希望する方には、別途申請方法等をお知らせしますので、願書の所定欄に必ず希望の有無を記載してください。

(注1) 該当者： 企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者

出産、育児、介護等を行う必要のある者

その他、本研究科が適当と認める者

(注2) 在学年限は6年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出すことはできます。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意することはありません。

## 9 個人情報の取扱いについて

- (1) 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施、入学手続き、入学後の奨学・厚生補導並びに修学指導に関する業務を行うために利用し、この目的以外には利用しません。
- (2) 入学者選抜の過程で収集した個人情報は、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、本人の承諾なく、第三者に開示・提供しません。
- (3) 本学環境科学研究科に願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

## 10 注意事項

- (1) 願書郵送の場合は、出願用封筒を用い速達書留としてください。
- (2) 願書受理の通知は出しません。ただし、受理確認を希望する場合は、あて名記載の郵便はがきを同封してください。
- (3) 出願書類及び検定料は返付しません。

- (4) 健康診断書により，再診断を必要と認められた者に対しては，試験期間中に指示します。
- (5) 募集事務に関することは，環境科学研究科教務係に照会してください。
- (6) 郵便で出願書類を請求する場合は，住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手 270 円分をはった返信用封筒（角形 2 号，約 34cm × 約 24cm）を同封してください。

平成 18 年 5 月

東北大学大学院環境科学研究科

〒 980 - 8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-20

電話 (022) 795-4504

環境科学研究科ホームページアドレス

<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp>

別表 1

| 試験科目    | 試験日時              | 試験内容   | 備考                               |
|---------|-------------------|--|----------------------------------|
| 英 語     |                   | 一般、社会人、外国人留学生については、英語の能力を判定する資料で評価する。進学については、試験を行わない。  | 英語の能力を判定できる資料のない人は、別途英語能力の判定を行う。 |
| 口 述 試 験 | 8月28日(月)~8月30日(水) | これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表を行う。また、研究計画を発表し、それらについて質疑応答を行う。 | 日時・場所等の詳細は事前に連絡する。               |